

関係各位

大阪府環境農林水産部農政室長

病虫害発生予察情報について

標記について下記のとおり発表したので送付します。

病虫害発生予察注意報第3号

- 1 病虫害名 トビイロウンカ
- 2 対象作物 水稻
- 3 発生地域 府内全域（特に大阪南部）
- 4 発生量 多い
- 5 発生時期 8月～10月
- 6 注意報発令の根拠

- (1) 府内3カ所に設置した予察灯のうち、泉州地域（岸和田市）に設置した予察灯でのトビイロウンカ誘殺数が、平年および令和2年の同時期より多く、6月中旬から7月下旬まで断続的に誘殺（飛来）が確認された（表1）。
- (2) 7月12日～21日にかけて府内10か所で行った、払い落とし調査において、泉州地域の2か所のほ場でトビイロウンカの幼虫が確認された（表2）。

表1 予察灯の誘殺頭数

岸和田市	6月 第4半旬	6月 第5半旬	6月 第6半旬	7月 第1半旬	7月 第2半旬	7月 第3半旬	7月 第4半旬	7月 第5半旬
	(16～20日)	(21～25日)	(26～30日)	(1～5日)	(6～10日)	(11～15日)	(16～20日)	(21～25日)
令和3年	1	2	2	0	1	0	4	1
令和2年	0	1	0	0	0	0	0	0
平年値	0.3	0.3	0	0	0.1	0	0.2	0

枚方市	6月 第4半旬	6月 第5半旬	6月 第6半旬	7月 第1半旬	7月 第2半旬	7月 第3半旬	7月 第4半旬	7月 第5半旬
	(16～20日)	(21～25日)	(26～30日)	(1～5日)	(6～10日)	(11～15日)	(16～20日)	(21～25日)
令和3年	0	0	0	0	2	0	0	—
令和2年	0	0	0	0	0	0	4	4
平年値	0	0	0.2	0	0.1	0	0.4	0.5

※枚方市令和3年7月第5半旬の数値は現在集計中

羽曳野市	6月 第4半旬	6月 第5半旬	6月 第6半旬	7月 第1半旬	7月 第2半旬	7月 第3半旬	7月 第4半旬	7月 第5半旬
	(16~20日)	(21~25日)	(26~30日)	(1~5日)	(6~10日)	(11~15日)	(16~20日)	(21~25日)
令和3年	0	0	0	0	0	0	0	0
令和2年	0	0	0	2	2	0	0	0
平年値	0.1	0	0.3	0.5	0.6	0.1	0.3	1.0

表2 払い落とし調査で確認したトビイロウンカ成幼虫数 (7月12日~21日調査)

予察地点	(25株当たり 虫数(頭))	平年値	予察地点	(25株当たり 虫数(頭))	平年値
能勢町稲地	0	—	富田林市西板持	0	0.10
豊能町切畑	0	0.85	羽曳野市尺度	0	0
茨木市下音羽	0	0.03	和泉市国分町	1.0	0
枚方市招堤	0	—	泉佐野市日根野	0.3	0
八尾市水越	0	0.00	岬町谷川	0	0.08

※能勢町稲地と枚方市招堤は本年度より新規調査地点につき平年値が無い。

## 7 生態と被害

- (1) 成虫は4~5mmで、体色は脂ぎった褐色である(図1)。
- (2) 成虫には長翅型と短翅型があり、長翅型が梅雨時期に大陸から飛来し、次世代以降に主に短翅型が増殖する。
- (3) 成虫と幼虫が株元で吸汁加害して8月以降急激に増殖し、多発すると秋に「坪枯れ」を生じさせるため通称「秋ウンカ」と呼ばれる(図2)。



図1 トビイロウンカ長翅型成虫と幼虫



図2 トビイロウンカによる坪枯れ被害

## 8 防除方法

### ◆病害虫防除グループホームページにて

トビイロウンカの生態や防除を解説した**防除マニュアル「水稲 トビイロウンカの防除」**および**「令和3年版大阪府病害虫防除指針」**を公開しています。併せてご参照ください。

<http://www.jpnp.ne.jp/osaka/>

- (1) トビイロウンカは水田内で局所的に発生するため、水田内を広く見回り、株元をしっかりと観察し、発生に注意する。
- (2) 表3の薬剤を使用時期(収穫前日数)に注意しつつ、適期に散布する。

(3) 飛来状況から、今年のトビイロウンカの防除適期（若齢幼虫期）は8月上旬頃と考えられる。

(4) トビイロウンカは株元に多いので、散布時は株元まで十分に薬剤が行き渡るように注意する。

表3 トビイロウンカ本田施用剤（例）

農 薬 名	使用時期	成分数	トビイロウンカに対する有効成分（IRACコード）
スタークル(アルバリン)粒剤	収穫7日前まで	1	ジノテフラン（4A）
スタークル豆つぶ	収穫7日前まで	1	ジノテフラン（4A）
スタークル(アルバリン)粉剤DL	収穫7日前まで	1	ジノテフラン（4A）
トレボン粉剤DL	収穫7日前まで	1	エトフェンプロックス（3A）
パダントレボン粒剤L	収穫30日前まで	2	エトフェンプロックス（3A）
パダンバッサ粒剤	収穫30日前まで	2	BPMC（1A）
エクシードフロアブル	収穫7日前まで	1	スルホキサフロル（4C）
エクシード粉剤DL	収穫7日前まで	1	スルホキサフロル（4C）
エミリアフロアブル	収穫7日前まで	1	フルピリミン（4F）

（令和3年7月現在）

※エクシード、エミリアはウンカに対する比較的新しい有効成分を含む

※令和3年7月現在、ウンカに対する比較的新しい有効成分を含む本田施用**粒剤**はありません。

粒剤しか使用できない場合は、スタークル（アルバリン）粒剤・豆つぶ等を使用してください。

●Web版大阪府病虫害防除指針（<http://www.jppn.ne.jp/osaka/>）

●農林水産省農薬登録情報提供システム（<https://pesticide.maff.go.jp/>）  
で確認してください。